



神野義孝 議員  
市民21

## 富士山火山防災施策について

本年7月、御嶽山噴火の教訓から活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律が成立した。御殿場口登山道の在る当市は、登山者の安全を守る責務がある。また、各地で火山活動が活発化しており、当市の火山防災対策の更なる具体化が急務である。

**問** 火山防災、特に集合場所等避難行動の市民への周知は。

**答** 昨年度、市の広域避難の考案方の地区説明会を行い、区避難計画を作成してもらった。また、防災出前講座で周知を図り、今年度は富士山噴火を想定したモデル区訓練を行う。モデル区以外の区は、防災指導者の研修会を予定し、火山防災の訓練を自主防災会で企画・実行し、避難時の集合場所等を周知してもらう。また、修正したハザードマップと広域避難要領を掲載したマップを平成

28年度以降、新たに市民に配布する予定である。

**問** 小・中学校の火山防災教育の取り組みは。

**答** 「学校火山防災マニュアル」を今年度中に作成する予定である。今後、火山防災の訓練を年間の防災訓練計画に位置づけ、的確な対応行動を指導する。

**問** 登山者の安全対策は。

**答** 緊急速報メールの配信、各山小屋への市戸別受信機の設置、スマートフォンを活用した県の「富士山の観光・安全総合システム」などあらゆる情報伝達ツールを活用する。また、サイレン設置の検討について県に提案する。登山者には、登山届の提出、ヘルメット等の携行など安全確保の意識啓発をする。



富士山の恵みと災害は表裏一体



菱川順子 議員  
公明党

## 胃がん予防の促進について

**問** 胃がんリスク検診(ABC検診)を導入することについて。

**答** 「がん検診実施のための指針」について国では必要に応じて見直しがされており、今後、胃がんリスク検診が厚生労働省のがん指針に採用されるなどの国の動向を注視する。

**問** 胃がんリスク検診(ABC検診)を若年層にも実施することについて。

**答** 若年層については、がんに対する正しい知識の普及啓発、検診の重要性をがん教育の推進の中で取り組んでいく。リスク検診の有効性についても、医師会と協議する。

**問** 胃カメラ検診を推進することについて。

**答** 現在、国の指針で推奨されているエックス線検診を実施し

ている。医師会の協力で集団検診車による胃部エックス線検診を実施しているが、「胃内視鏡検査」いわゆる胃カメラ検診が導入された場合、検査を実施する専門的医師や医療機関の確保も必要となる。いずれも医師会と相談し検討する。

**「ダブルケア」相談窓口の設置について**

**問** 近年、晩婚化に伴い出産年齢が上がり、子育て中に親の介護に直面する「ダブルケア」、つまり子育てと介護の両立が増えている。「ダブルケア」に携わっている方が気軽に相談できる行政窓口を設置することについて尋ねる。

**答** 将来的に、市役所庁舎東館の完成により福祉関連部署が集約されるため、より相談しやすい環境づくりに努めていく。

